

令和3年度熊本県地域リハビリテーション支援センター事業

実績報告書

1 広域支援センター及び密着リハセンターへの技術的支援

(1) 研修会

開催日時 会場	研修会名	研修の概要	講師	主な参加者及び 参加者数
R3年7月15日(木) 18:00~19:00 於:オンライン研修	熊本県地域リハビリテーション支援センター研修会 (令和3年度第1回 災害リハビリテーション研修会)	「令和2年7月豪雨におけるJRAT熊本の活動報告」  ①令和2年7月豪雨における活動の概要  ②各支援チームからの報告(各1名)	山鹿温泉リハビリテーション病院 院長/熊本県災害リハビリテーション推進協議会事務局長・田代桂一先生  ② 1) 寺尾病院 理学療法士 黒田智憲 氏  2) にしくまもと病院 作業療法士 田中智寛 氏  3) 御幸病院 理学療法士 田中 誠 氏	地域リハビリテーション広域支援センター、地域密着センター、市町村など  170名

<p>R4年3月1日(火) 19:30~21:00 於：熊本県医師会館 (ハイブリッド方式)</p>	<p>熊本県地域リハビリテーション支援センター研修会</p>	<p>【テーマ】“コロナ禍だけど、目指したい地域リハビリテーションのカたち”</p> <p>講義 「地域リハビリテーションのカたち」</p> <p>シンポジウム 1) コロナ禍における活動報告(各6分) 活動状況アンケートより</p> <p>2) 地域リハ実践活動(6分) 関係機関の連携活動として</p>	<p>講師：医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院理事長 平田 好文 先生</p> <p>1) ①山鹿温泉リハビリテーション病院 ②青磁野リハビリテーション病院</p> <p>2) ①熊本市(行政と広域の取り組み) ICTを用いた通いの場支援への取り組みについて ②熊本託麻台リハビリテーション病院(広域と地域住民との取り組み) アナログの通いの場支援の取り組みについて ③済生会みすみ病院(広域と密着リハセンターとの取り組み) 地域ケア会議における助言者育成について ④熊本機能病院(広域リハにおける多世代への取り組み) 障がい児・者の団体支援やスポーツクラブへの取り組みと今後の展望について</p>	<p>・熊本地域リハビリテーション支援協議会構成団体、 ・地域リハビリテーション広域支援センター、 ・地域密着センター他</p> <p>会場 13名 WEB 88名</p>
--	--------------------------------	---	--	--

## (2) 連絡会議

開催日時 会場	協議会名	報告・協議の内容	主な参加者及び 参加者数
令和3年6月14日 (月) 17:30~18:30 オンライン会議	熊本県各圏域地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	報告 (1) 熊本県地域リハビリテーション支援センター令和2年度活動実績、令和3年度の取り組み等について (2) 地域リハビリテーション広域支援センター令和2年度活動実績、令和3年度の取り組み等について (3) 復興リハビリテーション活動について 意見交換 (1) 地域密着リハビリテーションセンターの活動に関する現状と課題 (2) 地域リハビリテーション広域支援センター業務に関する意見交換	地域リハビリテーション広域支援センターの責任者及び担当者、県支援センター、県など 34名
令和4年3月1日 (火) 18:00~19:20 熊本県医師会館 (ハイブリッド方式)	熊本県各圏域地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	報告 (1) 熊本県地域リハビリテーション支援センター事業について (2) 復興リハビリテーション活動について 協議 (1) これからのリハビリテーションの連携体制について～国の指針及び他県の体制を参考にして～(意見交換)	運営委員、地域リハビリテーション広域支援センターの責任者及び担当者、県など 会場 10名 WEB 23名

## (3) 運動器評価システムの運用

### 【経過】

令和3年2月の研修会で令和3年度に本システムの改修と運用について説明し、本年度は5月の運営委員会、6月の連絡協議会で本システムの運用状況について改めて説明を行った。

また、新システムの活用状況を確認するため、5月末にアンケート調査を実施し、その結果等も踏まえて7月に関係者間で打合せを行った。

アンケート調査結果では、全体の約8割が未使用であったがその理由としては、自治体関係（地域独自のシステム、他事業所への委託など）やコロナ禍による活動自粛を除き、システム自体を知らない（使い方も含む）、旧システムを使用中などの理由が多かったため、運動器機能評価の意義や本システムの操作方法、データを活用した取り組み等についてより多くの関係者に理解していただけるよう説明会を企画した。その他、今後、十分なデータが蓄積された際のデータ回収のスケジュールや、集計（県全体、各圏域の事業形態別、年齢別等）を行いフィードバックを行うことなど、分析の方法について確認を行った。

### 運動器機能評価システム活用状況調査

・令和3年5月28日実施

(広域支援センター、密着リハセンター/118件中61件回答・回答率51.7%)

## 運動器機能評価打合せ

- ・日 時：令和3年7月6日（火）18：30～19：30
- ・場 所：WEB会議
- ・議 題：①令和3年4月改修運動器機能評価システムについて  
②運動器機能評価について

## 運動器機能評価システム説明会

- ・日 時：令和3年8月3日（火）18：00～19：30
- ・場 所：オンライン研修
- ・説 明 会：①「運動器の話 ～ロコモティブシンドロームを中心に～」  
熊本地域リハビリテーション支援協議会  
公益社団法人熊本県医師会 理事 中 村 英 一 先生
- ②「運動器機能評価の保健事業・介護予防での意義  
～運動器機能評価システムの効果的活用法～」  
地域密着リハビリテーションセンター  
株式会社ともいきLabo 理学療法士 北 尾 昌 平 氏
- ③「運動器機能評価データベース 操作ガイド」  
熊本地域リハビリテーション広域支援センター  
青磁野リハビリテーション病院 作業療法士 徳 丸 由美子 氏
- ④「運動器機能評価システムを活用した取り組み」  
産山村健康福祉課 高 橋 正 郎 氏

### (4) 活動報告集の作成

- ・ 地域リハビリテーション広域支援センターの活動報告集（令和2年度（2020年度）版）を作成。

### (5) 災害時のリハビリテーション活動への協力

- ・ 令和3年度は災害発生に伴う活動なし

### (6) その他

開催日時・会場	協議会名	報告・協議の内容	主な参加者及び参加者数
令和3年5月10日 （月） 19：00～20：10 熊本県医師会館 （ハイブリッド方式）	熊本県地域リハビリテーション支援センター運営委員会	報告 ① 令和2年度熊本県地域リハビリテーション支援センターの県委託事業について ②その他 ・復興リハビリテーションセンター設置・運営事業業務について 協議 ① 令和3年度熊本県地域リハビリテーション支援センター業務委託に関する件 ・連絡協議会、研修会の開催について ・運動器機能評価システムの運用について ②その他 ・地域リハビリテーションにおける	運営委員 会場 10名 WEB 9名

		各会議のつながりと決定のプロセスについて	
--	--	----------------------	--

## 2 ホームページの維持管理

提供日	提供した内容
令和3年4月～ R4年3月	令和2年度活動報告集や、熊本県からの情報提供並びに本協議会を含めた研修会情報等を掲載。